

北九州市環境審議会における審議について (事業系ごみの減量リサイクルの推進)

北九州市では、事業系ごみの減量リサイクルを推進するため、令和6年7月30日(火)に開催された第69回北九州市環境審議会において「北九州市における事業系ごみの減量リサイクル」について、ご審議いただいたので報告するもの。

1 審議の内容について

(1)審議資料 別紙1のとおり

(2)審議内容

①今回の審議テーマについて

②事業系ごみの排出状況について

③事業系ごみ削減の対応策「紙類の分別リサイクル」、「食品ロス削減」 など

2 委員からの主な意見

- ・業種別の排出状況やリサイクルに向けた対応策は分かったが、なぜ分別が進まないのかという視点について整理が必要であると感じた。
- ・宿泊施設についても紙類の排出が多いとの説明だが、厨芥類の排出が多い施設もあると思う。さらに詳しい調査をお願いしたい。
- ・オフィス町内会などを通じて紙類を排出する場合に奨励金等の仕組みはあるか。

北九州市における事業系ごみの 減量リサイクルについて (対応策の検討②)

令和6年7月30日

環境局循環社会推進課

1

目次

- 1 本日の審議テーマ(リサイクルのさらなる促進)
- 2 事業系ごみの排出状況
- 3 対応策
- 4 他都市の事例
- 5 次回の審議テーマ
- 6 今後のスケジュール(案)

2

1 本日の審議テーマ

①事業所に対する啓発・指導

- 事業所訪問・立入検査
訪問事業者数は増加しているが、悪質な排出事業者に対する、より強い指導が必要
- 事業系ごみに関する周知・情報提供
排出事業者向け講習会などに参加していない排出事業者への周知等が必要

②工場等での受入体制・指導のあり方

- 違法搬入業者、無許可業者等指導強化
違反物を搬入する業者や、無許可疑いの業者等が多く見受けられ、対策が必要
- 市外からの持ち込み
市外ごみの持ち込みが一定程度あると考えられ、常時搬入車両を確認できる体制が必要

③リサイクルのさらなる促進

- リサイクルの受け皿への誘導
市内にはリサイクルの受け皿が整備されているものの、排出事業所から排出されるごみには、分別すればリサイクルできるものが多く含まれており、リサイクルへ誘導する仕組みづくりが必要

④手数料のあり方

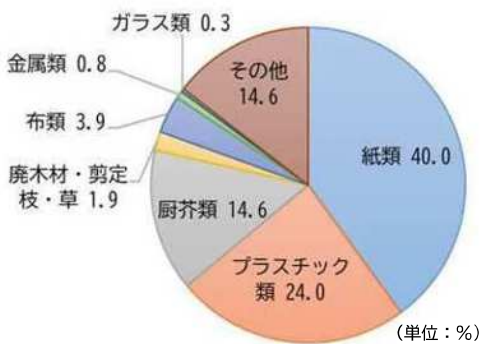
- ごみ処理手数料の見直し
ごみ処理手数料が周辺都市に比べて割安なため、周辺都市からのごみ流入の一因となっており、対策が必要

新日明工場の建設等に伴い、ごみ処理経費が将来的に20,000円以上になることが見込まれ、排出事業者の受益者負担の検討が必要

3

2 事業系ごみの排出状況

【 事業系ごみの組成調査 】



R2年度事業系ごみ組成調査結果

【 焼却工場に持ち込まれた資源化物 】



段ボールや雑がみなどの紙類



業務用の調味料のペットボトルやプラスチック類



- 調査の結果、分別すればリサイクルできる紙類が最も多く含まれている
- 分別リサイクルの手間・経費負担を避けるために、工場に持ち込まれている

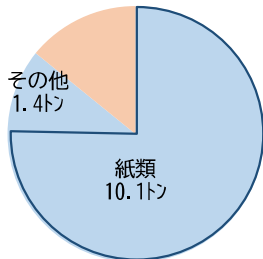
4

2 事業系ごみの排出状況

(1)業種別のごみ排出及び資源化状況 (R4年度条例対象事業所からの報告による)

【事務所】 オフィスビルや公共施設など

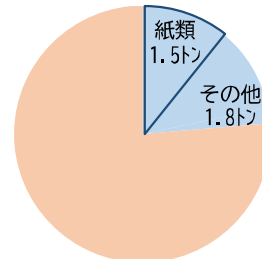
資源化率 (高)



焼却ごみ：1.9ト
資源化物：11.5ト
合計量：13.4ト
(資源化率：85.8%)

<資源化物内訳>
紙類：10.1ト
かんびん：0.1ト
プラスチック：1.3ト

資源化率 (低)



焼却ごみ：10.7ト
資源化物：3.3ト
合計量：14ト
(資源化率：23.6%)

<資源化物内訳>
紙類：1.5ト
かんびん：1.5ト
プラスチック：0.3ト

- ▶ 事業者の減量リサイクルへの意識や分別状況により、資源化率に約60ポイントの開きが見られた
- ▶ 特に紙類(コピー用紙、段ボール、機密文書)の分別に違いが見られた

※事業所における焼却ごみの約5.5%がリサイクル可能な紙類 (H28事業者別事業系ごみ組成調査)

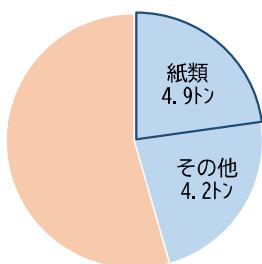
5

2 事業系ごみの排出状況

(1)業種別のごみ排出及び資源化状況 (R4年度条例対象事業所からの報告による)

【宿泊施設】 旅館やホテルなど

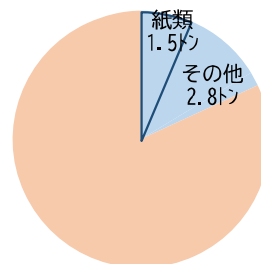
資源化率 (高)



焼却ごみ：11.7ト
資源化物：9.1ト
合計量：20.8ト
(資源化率：43.8%)

<資源化物内訳>
紙類：4.9ト
かんびん：4.2ト
プラスチック：なし

資源化率 (低)



焼却ごみ：19.7ト
資源化物：4.3ト
合計量：24ト
(資源化率：17.9%)

<資源化物内訳>
紙類：1.5ト
かんびん：2.4ト
プラスチック：0.4ト

- ▶ 紙類、かんびん等の分別により資源化率に約25ポイントの開きがあった
- ▶ 資源化率の高い事業者は、使い捨てアメニティを削減する取組を実施

※ホテル業界における焼却ごみの約20%がリサイクル可能な紙類 (H28事業者別事業系ごみ組成調査)

6